

2012 Vol.17 THE BSSC JOURNAL 通巻17号 2012年6月26日発行



びわこ成蹊スポーツ大学新聞 Biwako Seikei Sport College

THE BSSC JOURNAL

びわこ成蹊スポーツ大学の「今」を伝える

発行=びわこ成蹊スポーツ大学メディア研究会 〒520-0503 大津市北比良1204番地 http://www.bsscjournal.net/



力投したエース山脇



1年生の好打者 小田

合言葉は神宮の舞台へー京滋大野球1部リーグに復帰した硬式野球部が春季リーグ(4月2日~5月27日)で熱い戦いを展開した。優勝争いこそ逸したものの、2年生の活躍が目立ち、創部以来の目標に掲げている大学選手権出場への期待が大きく膨らんだ。昨リーグ戦の戦績は7勝6敗1分け。昨

秋リーグの覇者、京都学園大に2連敗し優勝争いから後退したが、最終戦の花園大に2勝1分け1敗で勝ち越し3位に食い込んだ。昨秋2部リーグの10戦全勝、入れ替え戦の京教大に連勝した勢いに加えて、将来性のある新人の加入でチーム力がアップした。リーグ首位打者に岡田凌(中堅手・4年)が輝き、ベスト9に捕

手の谷(4年)、二塁手の小林拳(3年)、岡田凌の3人が選ばれた。勝ち点3をあげた試合を振り返ると、大味な試合がまず目につく。コールド勝ちが3試合、コールド負けが2試合。好打者で主軸の岡田凌を中心とした打線は、一気にたたみかける攻撃を見せるかと思うと、制球力のよい投手にはあっさり抑

え込まれてしまう。「ホンモノの勝負強さがまだ、チームには備わっていない。勢いに任せた試合が多い」と本郷監督は分析する。佛教大戦でみせた小鐘の劇的なサヨナラ本塁打や花園大戦の序盤の集中攻撃で9点を奪った大勝は、「強い」印象があるが、その一方で好投手といわれる京都学園大の稲垣や花園大の田中らの低めを突く丁寧な投球に抑え込まれてしまう。競り合った試合で守備の乱れから失点するケースもあり、リーグで優勝を狙うにはなによりも攻守に安定した総合力が必要だ。

たくましく力強く 復讐 硬式野球部が 1部リーグで 京滋大 優勝

2年生投手 高橋道

京滋大学野球 春季リーグ戦 びわスポ大の戦績

4月2日~5月27日

平成24年度 春季リーグ戦 星取表(1部)

Table with columns for teams (学園大, 佛教大, びわスポ大, 花園大, 成美大, 大谷大), wins, and win percentage.

第1戦(ワカサSK)

Score table for Wacasa SK game.

第2戦(京都学園G)

Score table for Kyoto Gakuen G game.

第3戦(佛教大G)

Score table for Buddhist G game.

第1戦(太陽が丘)

Score table for Taiyogaoka game.

第2戦(太陽が丘)

Score table for Taiyogaoka game.

第3戦(佛教大G)

Score table for Buddhist G game.

第1戦(太陽が丘)

Score table for Taiyogaoka game.

第2戦(佛教大G)

Score table for Buddhist G game.

第1戦(わかさ)

Score table for Wakasa game.

第1戦(佛教大G)

Score table for Buddhist G game.

第2戦(佛教大G)

Score table for Buddhist G game.

第3戦(太陽が丘)

Score table for Taiyogaoka game.

第4戦(伏見桃山)

Score table for Fushimi Momoyama game.

第2戦(わかさ)

Score table for Wakasa game.

# 陸上部が1部復帰

## 競歩の丸尾が

# 3連覇の活躍

みんなの笑顔が見たいから！陸上の第89回関西学生陸上競技対校選手権大会は5月11日から3日間、大阪・長居競技場で行われ、男子は2部の総合得点争いで2位になり、昨年以来の1部に復帰した。男子1万m競歩で丸尾知司が41分40秒97の大会新で1昨年から3連覇を果たし、2位にも石田研磨が42分42秒95をマークして1、2フィニッシュ。110m障害では村上眞生が14秒48で制し、1600mリレーも京都大、佛光大を抑えるなどトラック競技の活躍が目立った。

丸尾の1万m競歩は独壇場だった。6000mを過ぎたあたりで先頭集団は丸尾を中心に絞られたがレースではいつも「勝ちにこだわりたい」という強気な丸尾が積極的にペースをあげてライバルを次々と振り落した。「大満足のタイムでした」と振り返ったが、2位に仲間の石田に1分余りの差をつける会心レースだった。

初優勝した一年のときから丸尾は「みんなの笑顔が見たいから」という言葉を心に留めてレースに挑む。今回の3連覇もこの心構えが実を結んだ。

京都・洛南高校出身で、3年の高校総体5000m競歩で3位、国体優勝と輝かしい成績を残し、大学でも着実に成果を出し続けている。競歩は走法が複雑で厳しい制約があり、またマラソンや駅伝などのように華やかなものではないが、地味な種目だけに丸尾の頑張りは際立っている。41分40秒97の大会新は、昨年の学生選手権では4位に相当する好タイム。1日20キロ近くの練習に打ち込む。「昨年は12位だったが、今年こそ優勝争いに加わる」と自信をのぞかせた。



3連覇の丸尾(中央)



110mHで優勝した村上(右)



1・2フィニッシュの丸尾(右)と石田

関西学生陸上競技対校選手権成績(主な決勝記録) 男子2部

種目	記録	順位	
本郷雄一郎	200m	21秒91	5位
東野 誠道	400m	48秒19	1位
西田 頌平	//	49秒86	6位
福崎 奨萌	800m	1分54秒86	3位
丸谷 祐也	//	1分55秒10	4位
佐保 一輝	5000m	14分53秒43	4位
山本 有輝	10000m	30分50秒31	5位
村上 眞生	110m障害	14秒48	1位
丸尾 知司	10000m競歩	41分40秒97 大会新	1位
石田 研磨	//	42分42秒95 大会新	2位
びわスポ大(河上、塩山、本郷、佐武)	400mリレー	41秒00	2位
びわスポ大(斎藤、東野、林、西田)	1600mリレー	3分14秒43	1位
馬淵 将	棒高跳び	4m60	1位
加藤 諒	//	4m40	4位
森 高幸	走り幅跳び	6m86	4位
藤嶋 尚生	砲丸投げ	12m02	5位
森村 友洋	ハンマー投げ	52m59	1位
今田 雄大	//	49m45	3位
加奈川崇徳	やり投げ	63m50	2位
谷 星大	10種競技	5898点	4位
林 祐太朗	//	5848点	5位

## サッカー一部が 総理大臣杯出場!

◇関西学生選手権

対戦相手	得点	対戦相手
3回戦 びわこ成蹊スポーツ大	5 2-0 3-1	1 摂南大
4回戦 びわこ成蹊スポーツ大	4 2-0 2-1	1 立命大
準々決勝 びわこ成蹊スポーツ大	4 2-0 2-1	1 大経大
準決勝 びわこ成蹊スポーツ大	0 0-2 0-2	4 関大

得点者 西村勇太、杉山雄亮3、横井翔太  
得点者 加藤大樹、山本泰平、松田陸、竹内一貴  
得点者 松田力3、川村大毅

春の学生サッカーの王者を争う総理大臣杯大学選手権トーナメントの出場権をかけた関西学生選手権(5月20日〜6月3日)でびわこ成蹊スポーツ大がベスト4に入り初の総理大臣杯出場を決めた。

びわスポ大は3回戦から登場し初戦の摂南大に5-1で大勝したあと4回戦も前半から積極的な攻撃を仕掛けて4-1でライバル立命大をくぐり上り6チームに与えられる出場権を獲得した。

春季リーグで10ゴールを挙げ得点王争いのトップに立つFW松田力が立命大戦では2アシストで味方の攻撃陣を支えた。

前半23分に加藤のゴールを引き出し後半44分にはドリブルで切れ込んで竹内の追加点につなげた。

勝てば、総理大臣杯出場が決まる準々決勝の大経大戦も松田力が大活躍。前半2分に加藤からのパスを受けて先制ゴールを奪うと2-1に追い上げられた後半17分に貴重な追加点を奪い、終盤の35分にダメ押しゴールをたたき込んでベスト4入りをハットトリックで達成した。大経大は昨年の1、2部入れ替え戦を難敵だったが、びわスポ大は立ち上がりからボールを支配して優位に進めるなど3試合で13得点の破壊力をみせた。しかし、準決勝の大経大戦は、シュートがわずかに2本で0-1の完敗。3位決定戦も阪南大に0-6で大敗し、4位に終わった。

決めた!

念願の

全国の舞台へ

# 巻き返しを誓うイレブン

「今年こそ」を合言葉にサッカー部が関西学生リーグで上位争いを展開している。序盤の8試合を3勝3敗2分け(勝ち点11)で7位につけ、首位の桃山大(勝ち点17差)、2位関西大(同16)、3位大院大(同15)を追っている。

昨年は2部リーグとの入れ替え戦に出場する不振だったが、今季はFW松田力を軸に攻撃的なサツ

カーでチームの立て直しを図ってリーグを迎えた。開幕の関大に競り勝ったライバル阪南大に1-7の大敗を喫するなど相変わらず守備に不安を抱えた戦いが続く。8試合の得点15に対し失点18と多く、守備のコンベクションや判断ミスが目立つ。不安を抱えた守備に比べると攻撃は運動能力の高い松田力が同大戦でハットトリッ

クをあげるなど8試合で10得点の活躍をみせている。「攻守のバランスが取れると楽しいなチーム」と望月監督は期待をかけるが、安定度となるとまだまだ課題が多

い。不用意なパス、状況判断のまずさからカウンター攻撃を受けて失点するケースも多く、夏場を乗り切ったあとの後半戦の戦いが巻き返しの大きなカギになる。



選手に指示をする望月監督



ゴール前の攻防

## 関西学生リーグ前期結果(5月13日まで)

日時	対戦相手	得点
第1節 4月7日	びわこ成蹊スポーツ大	0-0
	関西大	2-1

得点者 松田力、加藤大樹

日時	対戦相手	得点
第2節 4月14日	びわこ成蹊スポーツ大	1-0
	近畿大	0-1

得点者 河村大毅

日時	対戦相手	得点
第3節 4月22日	びわこ成蹊スポーツ大	1-1
	立命大	0-0

得点者 松田力

日時	対戦相手	得点
第4節 4月28日	びわこ成蹊スポーツ大	0-0
	桃山大	0-1

日時	対戦相手	得点
第5節 4月30日	びわこ成蹊スポーツ大	1-3
	阪南大	0-4

得点者 OG

日時	対戦相手	得点
第6節 5月3日	びわこ成蹊スポーツ大	1-1
	同大	3-1

得点者 松田力3、矢澤貴文

日時	対戦相手	得点
第7節 5月6日	びわこ成蹊スポーツ大	0-1
	関学大	3-0

得点者 加藤大樹、松田力、OG

日時	対戦相手	得点
第8節 5月13日	びわこ成蹊スポーツ大	2-1
	大院大	1-3

得点者 中村謙吾、松田力2

## 2012年度 第90回 関西学生サッカーリーグ (前期) 星取表

順位	桃山大	同大	近畿大	関西大	関学大	大体大	阪南大	立命大	びわスポ大	大産大	大院大	京産大	勝	負	分	得点	失点	得失点差	勝点
1	桃山大				○ 2-0	● 0-1	○ 3-1	○ 2-1	○ 1-0	○ 2-1	● 2-3	○ 1-0	6	2	0	13	7	6	18
12	同大		● 1-2	● 2-4			● 0-4	● 2-4	● 2-4	○ 4-3	● 0-2	○ 1-1	1	6	1	12	24	-12	4
9	近畿大					○ 3-2	△ 0-0	● 0-1	△ 1-1	● 0-2	● 1-5	● 0-3	2	4	2	7	15	-8	8
2	関西大					○ 2-1		△ 2-2	● 1-2	● 0-1	○ 1-0	○ 6-0	5	2	1	19	10	9	16
11	関学大	● 0-2			● 2-3		● 0-4	△ 1-1	● 1-3	○ 4-1	○ 1-0	● 0-2	2	5	1	9	16	-7	7
8	大体大	○ 1-0		● 2-3	● 1-2		△ 3-3	○ 5-0		● 0-1	● 3-4	○ 3-0	3	4	1	18	13	5	10
5	阪南大	● 1-3	○ 4-0	△ 0-0		○ 4-0	△ 3-3		○ 7-1	△ 3-3		天候の影響により延期	3	1	3	22	10	12	12
6	立命大	● 1-2	○ 4-2	○ 1-0	△ 2-2	△ 1-1	● 0-5		△ 1-1			○ 3-2	3	2	3	13	15	-2	12
7	びわスポ大	● 0-1	○ 4-2	△ 1-1	○ 2-1	○ 3-1		△ 1-1			● 3-4		3	3	2	15	18	-3	11
4	大産大	● 1-2	● 3-4	○ 2-0	○ 1-0	○ 1-0	△ 3-3				○ 1-0		4	3	1	13	13	0	13
3	大院大	○ 3-2	○ 2-0	○ 5-1	● 0-1	○ 0-1			○ 4-3	○ 0-1			5	3	0	18	12	6	15
10	京産大	● 0-1	△ 1-1	○ 3-0	● 0-6	○ 2-0	● 0-3	天候の影響により延期	● 2-3				2	4	1	8	14	-6	7

第8節 終了時点

### ◇男子バレー(3部)

対戦相手	得点
奈良教育大	3-0
京都教育大	3-0
関西大	3-0
京都大	2-3
大阪教育大	3-2
大阪府大	3-1
神院大	0-3

(びわこ成蹊スポーツ大学は3部3位)

### ◇女子バレー部(2部)

対戦相手	得点
園田女大	0-3
姫路獨協大	0-3
神戸親和女大	0-3
天理大	0-3
大阪女子短大	2-3
関大	0-3

### ◇ソフトボール(2部)

対戦相手	得点
兵庫教育大	5-1
摂南大	12-1
京都女子大	7-0
奈良教育大	不戦勝
佛教大	18-3

### 2次リーグ

対戦相手	得点
大体大	6-10
奈良文化女大	0-10
太政学院大	1-11
関西大	2-8

(びわこ成蹊スポーツ大学は2部5位)

### ◇バドミントン団体(京都学生リーグ)

対戦相手	得点
京都工織大	2-3
京都府立大	1-4
滋賀大経済	1-4
滋賀短大	5-0
佛教大	2-3

### 1部女子

対戦相手	得点
龍谷大	0-5
立命大	0-5
同大	2-3
京産大	0-5
滋賀短大	0-3

### 入れ替え戦

対戦相手	得点
佛教大	3-2

(びわこ成蹊スポーツ大学は1部残留)

## 《主な競技の春季リーグ成績》

ひ弱い、勝負もろい、粘り不足、集中力に欠ける。各部活動の春季リーグを見ているとイライラ、ハラハラの戦いが多い。「なんで」の素朴な疑問に監督やコーチらは「本場の勝つ喜びを知らない」の答えが返ってくる。

2006年のドイツW杯サッカーを取材したとき、ポルトガルのMFフィーゴ、ブラジルのロナウジーニョに「頑張る秘訣」を聞いたことがある。フィーゴはドリブルの魔術師の異名を持ち、ロナウジーニョは異次元サッカーの申し子といわれたが、普段の練習は人の2倍も3倍も真剣にやっていたのける。ロナウジーニョは所属していたFCバル

セロナ時代、一人居残りの練習でシュート、PK、FKに汗を流した。フィーゴはW杯本番に入ったときも、割り当てられた代表の練習時間が過ぎてもひとり黙々と鋭いカーブをかけたFKの特訓に励んだ。二人に共通するのは「努力は無限」という言葉だ。

びわこエリアに続いて比良エリアのスポーツ施設が充実してきたが、サッカーと硬式野球部を除くとほとんどの部活は下部リーグで低迷している。開学10周年を迎えて、そろそろスポーツ本来の「勝つ喜び」をみんないで味わってほしい。(スポーツビジネスコース・的地修)

がんばれ

# BSSC勢

# 女子柔道がビッグな初タイトル

## 関西学生3人制団体で

# 初優勝



柔道の第20回関西学生女子優勝大会は5月27日、兵庫県尼崎市のベイコム総合体育館で争われ、3人制に出場したびわこ成蹊スポーツ大は中村(競技スポーツ学科コーチングコース2年生)、治田(1年生)のフレッシュコンビの活躍で勝ち進み、決勝は京産大に2-1で逆転勝ちして創部以来の初タイトルを手にした。

大会も1回戦から危なげなく勝ち進んだ。摂南大に3-0で完勝したあと2回戦の関大、準決勝の芦屋大をいずれも2-0でくたした。中村は監督譲りの切れ味鋭い内またで一本勝ちを重ね、78キロ級の治田は寝技で力を発揮。決勝の京産大は中根が初戦を落

としたが、中村が内また、治田が合わせ技で一本勝ちの逆転勝利でタイトルを獲得した。昨年は3位に終わっただけに中村らは「1年がかりの夢がかなった。関西の主座から次は日本を目指したい」と張り切る。村田監督も女子柔道にける期待は大きく「将来は20人ぐらいの選手を抱えて日本一から世界の舞台で戦える選手を育てたい。中村も治田もそんな可能性を秘めた選手だから、これから先が楽しみ」と話していた。

### ◆決勝

びわこ成蹊スポーツ大	2-1	京産大
中根②	横四方固め	○空林③
○中村①	内また	笠原③
○治田①	合わせ技	斎藤②

(丸囲みの数字は段位)



積極的に攻める中村(右)



1年次生で健闘した治田(左)



### 3000余人がフレッシュユマン キャンプを体験

#### 残雪の武奈ヶ岳 登山に挑戦

311人の新入生を迎えて恒例のフレッシュユマンキャンプが本学艇庫(近江舞子湖畔)と比良山系を活動の場に4月5日から11日まで行われた。

前半の8クラス、後半の8クラスに分かれたキャンプはアイスフレイキングやASE活動を通じて初めて顔合わせする者同士がコミュニケーションをとり、仲間づくりの輪が広がった。寝食を共にしたテント生活のフィナーレは膝まである雪道を踏みしめての武奈ヶ岳登り。仲良く打ち解けた仲間らが助け合いながら比良の大自然を味わった。

## びわこ成蹊スポーツ大学

〒520-0503 大津市北比良1204番地  
【代表】TEL:077-596-8410 FAX:077-596-8419 E-mail:jim@bss.ac.jp



JR比良駅から線路沿いに徒歩約15分。JR京都駅よりJR比良駅まで約40分。



## 10周年に向けて 充実する比良エリア



開学当初からの夢だった硬式野球部の専用グラウンドが昨秋に完成したのに続き、ハードコート「テニス」の森、野外スポーツコースの専用施設として「野性の森」が今夏までに相次いで完成する。これで本学のスポーツ施設は、陸上競技場、人工芝のサッカー場、アカセスタワーやマルチアリーナなどの施設が広がる「びわこエリア」と比良川をはさんだ比良エリア

### 充実するスポーツ施設

## テニスコート、野性の森の工事が今夏に完成

大きく広がり、湖西のスポーツゾーンとして脚光を浴びる。ベースボールフィールドと名付けられた硬式野球場と隣接してできあがるテニスの森はナイター照明付きで6面のコートがあり、国際級の試合もできる豪華版。さらにコートから下方に自然の景観を残した野性の森が広がる。フレッシュユマンキャンプでおなじみのASE活動をはじめ、テント宿泊も可能なコンパクトな自然公園になる。

野球場とテニスコートの間に人工芝を敷いた「ついで」の広場ができ、10周年を記念したモニュメントが置かれる。9月22日に10周年の記念行事が行われ、式典のあとモニュメントの除幕式とテニスの森、野性の森がお披露目される。